

イー・ドリンコ株式会社によるセンタンフーズ株式会社の事業の実質的譲受

(合意契約締結時期) 2007年3月

(当社の立場) 双方企業への提案と双方からの依頼により仲介

(案件の意義)

イー・ドリンコは、缶コーヒーなど清涼飲料の大手ダイドードリンコ（東証一部上場）のグループ会社で、自動販売機のオペレーター事業に積極的に取り組んでいた。センタンフーズは、アイスクリームの製造販売等を行う林一ニグループの一員として経営資源の集中と選択に取り組む中、四国における自販機オペレーター事業を2005年にダイドーグループに譲渡し、近畿地区における同事業の位置付けについても考慮していた。このような両社に対し、センタンフーズの近畿地区の事業をイー・ドリンコに譲渡する本件を提案。両社の意向が合致した。（イー・ドリンコが新たに設立したセンタンピバレッジが受け皿会社となった）